

# 決算報告

昨年度実施した一般会計の主な施策・事業	
快適で暮らしやすいまちづくり	
土地区画整理事業	67億6,206万円
市営住宅の整備	2億2,568万円
公共下水道の計画的整備	18億4,489万円
道路の新設改良	32億4,012万円
通信指令システム高度化事業	3億3,800万円
農産物安全安心推進事業の充実	175万円
水道施設の計画的な整備	5億4,386万円

恵み豊かな自然と共生するまちづくり	
前橋こども公園再整備事業	1,251万円
前橋公園、敷島公園・ばら園整備事業	9,398万円
産業廃棄物処理対策事業(中核市対応)	1,070万円
農業集落排水処理施設の整備	5億4,176万円
有価物集団回収事業によるリサイクルの推進	1億1,729万円
バイオマスタウン構想策定	294万円
ごみ処理施設等のシステム・新技術調査事業	2,974万円

個々が光り輝くまちづくり	
新型インフルエンザ対策	5,460万円
福祉医療費支給事業(子ども医療費無料など)	27億252万円
幼児同乗用自転車購入助成	240万円
児童クラブの整備	8,753万円
幼稚園就園奨励費補助の充実	3億94万円
母子寡婦福祉資金貸付金(中核市対応)	1,284万円
介護施設等整備事業	1億2,699万円
地域包括支援センターの充実	1億3,150万円
障害者自立支援介護給付費・訓練等の給付費	25億437万円

地域資源を活かした活力あるまちづくり	
特別融資預託金(拡充)	40億3,839万円
産学官連携事業の推進	1,140万円
企業誘致促進	1億2,523万円
緊急雇用創出等(各事業に計上)	2億63万円
勤労者生活資金などの貸付	3億8,130万円
担い手支援事業	5,065万円
「TONTONのまち」推進事業	300万円
観光基本計画推進事業	911万円

豊かな心を育むまちづくり	
総社公民館整備事業	2,147万円
児童文化センター再整備事業	1,869万円
宮城公民館図書室のネットワーク化	529万円
こども図書館の充実	3,704万円
学校校舎・体育館などの改築、耐震補強事業	6億1,092万円
美術館構想の推進	127万円
文化施設整備事業(市民文化会館)	2,908万円

市民協働のまちづくり	
地域づくり推進事業	811万円
農村環境保全向上活動の拡大	2,494万円
外部監査制度の実施(中核市対応)	1,222万円
まえばし市民ネットワークシステム(SNS)の運営	256万円

● **農業共済事業**  
農業災害補償法に基づき、農家の自主的な相互扶助を基本に、災害による農家の損害を補てん。農業経営の安定と農業生産力の向上を図るため、各種共済事業に取り組みまし

● **下水道事業**  
生活環境の改善、河川の水質保全を図るために、下水道普及率の向上を目指し、施設の整備・拡充や下水道施設の適切な維持管理に努めました。

● **企業会計**  
第七次拡張事業や既存施設整備事業などの施設改良事業を中心とした施設の整備・拡充と適正な維持管理に努めました。



新築されたじょうとう児童クラブ

● **歳出**  
中核市移行や旧富士見村との合併で人件費や扶助費が増大したことにより、総務費や民生費が増額に。一方で、保

により増額となりましたが、景気後退による企業収益の悪化を受け法人市民税が減額となり、全体では減額となりました。その一方、中核市移行や旧富士見村との合併、国において実施された補助事業などに伴って、地方特例交付金、地方交付税、国庫支出金については増額になっています。

なお、財政調整基金(貯金)の取り崩しは、前年度より15億9,000万円減の17億円となりました。

● **国民健康保険**  
適正な保険給付を行うとともに、人間ドックの助成や特定健康診査および特定保健指導を実施するなど、保健事業を推進しました。

● **老人保健**  
後期高齢者医療制度創設により廃止された老人保健制度での医療費の適正な支出や精算などを実施しました。

● **後期高齢者医療**  
医療保険者である県後期高齢者医療広域連合へ納付金を納めるとともに、各種申請の受付などの窓口業務や保険料の徴収業務を行いました。

● **競輪**  
三山王冠争奪戦競輪などを開催したほか、グリーンロード前橋の建設費の償還や維持管理について支援しました。

● **農業集落排水事業**  
荒砥北部地区や白川東地区の管路施設工事などを実施。また、施設の適正な維持管理に努めました。

● **介護保険**  
介護を必要とする高齢者などが能力に応じた自立生活を

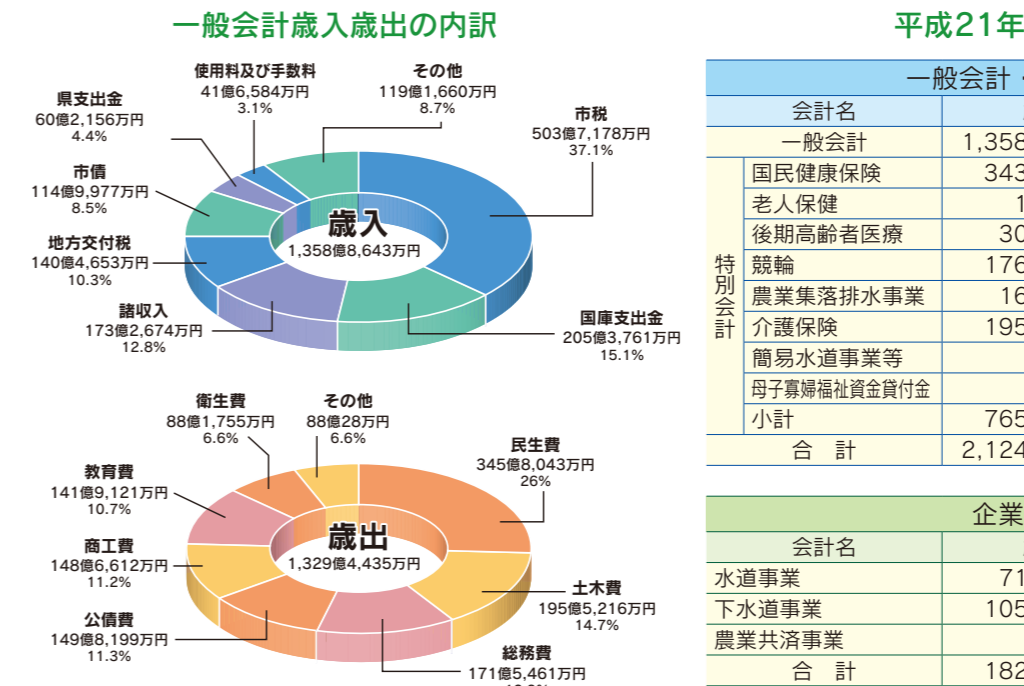
● **簡易水道事業等**  
苗ヶ島町の湯之沢小水道施設などの適正な維持管理に努めました。

● **母子寡婦福祉資金貸付金**  
福祉資金の貸し付けを行い、母子家庭や寡婦の生活安定とその子どもの福祉増進を図りました。

● **一般会計**  
主な財政改革として、歳入面では、税外収入も含めた滞納対策を強化。市税の滞納整理支援システムにより滞納者状況を迅速に把握するとともに、収納嘱託員を活用し納期内納付や自主納付を促進しました。その結果、収納率は目標の90・9%を上回る94%となり、5年連続の伸びとなりました。さらに、印刷物などへの有料広告の掲載などにより、自主財源の確保にも努めました。

● **歳入**  
市税は、個人市民税や固定資産税の収納体制の強化など

● **特別会計**  
● **国民健康保険**  
● **老人保健**  
● **後期高齢者医療**  
● **競輪**  
● **農業集落排水事業**  
● **介護保険**  
● **下水道事業**  
● **企業会計**



※市税のうち、目的税である都市計画税は、都市計画事業や区画整備事業に、入湯税は、環境衛生施設、消防施設、観光施設の整備などに活用されています。

● **決算概要**  
一般会計決算額の歳入歳出総額は、歳入総額が1,358億8,643万円、歳出総額が1,329億4,435万円で、歳入歳出差引額は29億4,208万円。これから本年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、25億7,122万円の黒字となり、このうち18億円を財政調整基金に積み立てました。前年度の実質収支額との差額で表す単年度収支は、プラス7億5,799万円と平成18年度決算以来の黒字となりました。

市債残高(借入金残高)は、交付税の代替財源である臨時財政対策債を除くと、1,093億円余りに縮減しました。今後も、暮らし優先の施策と市民サービスの一層の充実を図ることができるよう、自主財源の確保や事務事業評価による総点検、さらには事業の選択と集中に努め、市民の

● **一般会計**  
● **特別会計**  
● **企業会計**

平成21年度各会計決算

一般会計・特別会計決算		
会計名	歳入	歳出
一般会計	1,358億8,643万円	1,329億4,435万円
国民健康保険	343億5,262万円	333億7,367万円
老人保健	1億6,739万円	1億4,697万円
後期高齢者医療	30億5,428万円	30億2,146万円
競輪	176億6,357万円	169億8,868万円
農業集落排水事業	16億3,352万円	16億3,171万円
介護保険	195億8,971万円	193億4,877万円
簡易水道事業等	545万円	419万円
母子寡婦福祉資金貸付金	6,011万円	1,373万円
小計	765億2,665万円	745億2,918万円
合計	2,124億1,308万円	2,074億7,353万円

企業会計決算		
会計名	歳入	歳出
水道事業	71億4,805万円	91億2,130万円
下水道事業	105億1,408万円	128億3,393万円
農業共済事業	6億378万円	5億8,071万円
合計	182億6,591万円	225億3,594万円

※水道事業・下水道事業の歳出は、現金支出を伴わない減価償却費を含んでいます。